

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部  
TEL32-4005 FAX32-3389



# こども感染症情報

15.7.2  
週報第545号

## ☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第26週(6/22~6/28)※	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	0	→
感染性胃腸炎	47	↗
溶連菌咽頭炎	14	↘
手足口病	1	↗
水痘	0	→
伝染性紅斑 (リンゴ病)	2	↘
流行性耳下腺炎	0	↘
突発性発疹	4	↗
咽頭結膜熱	9	↗

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による  
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 ※ 第25週(6/15~6/21)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より14%増加)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より25%減少)
3位: 咽頭結膜熱 (全県で前週より44%増加)
4位: 伝染性紅斑
5位: 水痘
横手地域 警報 溶連菌咽頭炎
県内 警報 北秋田地域(感染性胃腸炎) 由利本荘地域(伝染性紅斑)

横手地域・学校欠席者情報(6/30)

疾患名	感 染 性 胃 腸 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	お た ふ か ぜ	溶 連 菌 咽 頭 炎	伝 染 性 紅 斑	咽 頭 結 膜 熱
施設 (数)								
保育所・園 (35)	3			1		4		
小学校 (22)					1	1		
中学校 (8)				1		1		
高校、他 (7)								

感染症情報収集システムより(人)

### 施設での感染症対策 <感染源対策>

●病原体が感染症にかかった人のどこから排出されるのか、また、その期間や感染経路を知っておくことが大切です。

●感染源となるのは、あきらかに「患者」とわかる人だけでなく存在することを念頭に、日々の対策が大切です。

- \*体力、免疫力が高い大人は、不顕性感染やごく軽い症状で済んでしまい、気づかずに感染源となってしまう可能性がある。
- \*病原体によっては、潜伏期間中にすでに体外に排出されている場合がある。

●日頃から施設の対策を家庭にお知らせして協力を得ていきましょう。

- \*感染症によっては、症状がおさまった後も病原体が排出される場合があり、症状消失後すぐに登園して感染を拡げてしまう可能性がある。